

議会報告会結果報告

開催日時	令和5年（2023年）5月21日（日）14時～16時			
開催場所	鎌倉市役所本庁舎2階 議会全員協議会室 201会議室			
出席議員	班長	井上 三華子		
	司会	久坂 くにえ		
	千 一	中里 成光	くり林 こうこう	武野 裕子
	出田 正道	日向 慎吾	児玉 文彦	保坂 令子
	藤本 あさこ	くりはら えりこ	前川 綾子	竹田 ゆかり
	森 功一			
参加人数	18人（内訳：対面13人 オンライン5人）			
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年（2023年）2月定例会の報告 （各常任委員会、一般会計予算等審査特別委員会） ・意見聴取 （テーマ『～市民みんなで考えよう～ 子育て世代が鎌倉市にもとめるもの』） 			
内 容	<p>【委員長報告への質疑】</p> <p>Q1：観光協会から発せられる情報が不十分であった。 A1：ご意見として承る。</p> <p>Q2：市民環境常任委員会の報告内容について、市民は店舗への届き方、どのように生かされるのか。また委員会報告の項目を選んだ理由はなにか。 A2：まずはデータ分析が大事であり、市としてやるべきではないかとの結論となった。また、報告項目については多くの市民に関わるものを選んだ</p> <p>Q3：市内でイベントが多く開催されているにもかかわらず、本日の日程を選んだ理由はなにか。 A3：今後、よく調べて調整をしていく。</p> <p>Q4：小児医療費助成の年齢はヤングケアラーの定義と同じか。 A4：小児医療費助成は高校3年生まで含まれる。ヤングケアラーについては法律上の決まりはないが、厚生労働省と日本ヤングケアラー連盟が18歳未満と定義している。</p> <p>【意見聴取での意見】 （保育園関連）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兄弟が別園となっていて朝の準備、送迎などが困難であるため、転園を希望している。点数制では、新規でない兄弟枠の5点加点は対象にならず、切実さが理解してもらえない。 ・保育園駐車スペースの確保。 			

- ・腰越保育園の仮園舎を今後も学童などに活用してほしい。
- ・鎌倉に転入してきて、認可保育園に入園できなかった場合の保育の選択肢が少ないと感じている。
- ・所得階層ごとの0歳～2歳児の保育所等保育料（利用料）は自治体によって設定額が異なるが、鎌倉市は相対的に高額なので見直してほしい。
- ・一時預かりの枠が広がらないのは、保育士不足が背景にある。保育士の処遇が改善されなければ保育士不足の問題の解消は困難。市として取りうる対策を真剣に考えてほしい。

（子育て情報について）

- ・情報に辿り着くまでに時間と労力がかかる。出産、子育て世代、不妊治療の時期などカテゴリーに合わせた情報検索ができるシステムを構築できないか（Webまたはアプリケーションで）。
- ・子育ての先人の経験を見える化してほしい。
- ・母子手帳交付時に、子育てに関する情報が多く、全てを説明しきれていない。

（学校給食について）

- ・小学校は自校式だが調理は民間委託している。直営に戻せないのか。
- ・市内農家と連携し、地場野菜を多く取り入れた安心して食べられる食材で、おいしい給食の提供を求める。
- ・食物アレルギーの子どもがこの10年で4倍に増えた。特に、牛乳はアレルギー等で飲めない子どもが多いので選択制にしてほしい。
- ・新型コロナの位置付けが『5類』に移行し、市教委から各校に通知されたにも関わらず、小学校ではコロナ時の対応のまま黙食を続けているクラスが多いのではないのか。市教委は具体的な指導をしてほしい。
- ・オーガニック給食を実現させたい。給食費無償化による給食の内容低下を懸念。

（通学路について）

- ・道路が狭い、通行車両が多い、側溝が多くて危険な場所など子どもたちの安全が確保されていない通学路の改善を求める。
- ・北鎌倉隧道は迂回せずに通してほしい。

（居場所について）

- ・子育て支援センターは、特に土曜日が利用できない。空きがなく、登録できても希望日に使えない。未就学児の守られた環境が欲しい。
- ・不登校の子どもなども利用できる、安心できる居場所づくりをお願いしたい。
- ・乳幼児が遊べる遊具が少ない

(学校について)

- ・タブレットがどのように使われているのか不明である。
- ・タブレットの対象を、コロナ療養中や不登校の子どもにも広げて、出席扱いにしてほしい。

(防災について)

- ・津波などが起こった場合、具体的にどうやって逃げるのか。市には、避難した後にどのような備えが用意されているか。

(障がいのある成人の子を支える親として)

- ・横浜市のように障がい者のグループホームがあると良いのだが、「親亡き後」の選択肢が鎌倉市にはない。行政も議会もこの現状に目を向けてほしい。

(その他意見・要望)

- ・ひとり親の所得制限をなくしてほしい。
- ・ファミリーサポートセンターの支援会員の報酬は、700円／1時間で15年変わっていない。現在、支援希望者は2,000人、支援員は500人である。報酬額等を改善し、支援会員の増員を図り、子育て支援体制の充実を。
- ・議会だよりの掲載内容はどのような基準で選んでいるのか。出した陳情について、提出の掲載すらなかったが、結果や理由などの詳細を知りたい。紙面上の制約があるのであれば、議会のWebサイトへの掲載で対応できるのではないか。掲載内容の再考を。
- ・支援の必要な方のところへ、実際に赴いて話を聞く必要がある。
- ・青空自主保育は素晴らしい子育て環境だが、共稼ぎだと選択できない。
- ・保育、待機児童策の具体的なアクションを打っていただけないと転出が増えるのではないか。

(書面での意見について)

参加者から書面で意見が示された。子どもを同じ保育園に通わせていた18名の方にヒアリングをしてまとめたもの10項目（このうち、1、4、5、10については、意見聴取中に口頭で要望がなされた）。

- 1 保育園の一時預かりー利用対象者や時間制限の見直し
- 2 学童保育についてー早朝時間の預かり対応
- 3 小学校の担任の仕事軽減と担任以外のサポート体制の充実
- 4 マスク問題ー市から学校へと早急に動いてほしい
- 5 小学校の学校給食時の過ごし方
- 6 保育と教育施設の充実に予算を当ててほしい
- 7 フリースクールやオルタナティブスクールへ通っている子供たちの在籍校での出・欠席扱いの見直し

- | | |
|--|---|
| | <p>8 梶原の森たんぽぽ保育園駐車場問題－市有地を困っている市民のために</p> <p>9 議会報告会の広報を！</p> <p>10 給食の牛乳を選択制にしてほしい</p> |
|--|---|